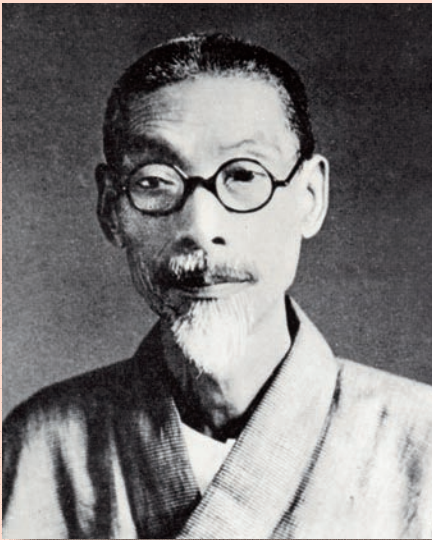


河上肇

岩国市
(1879～1946)



【著作】

『祖国を顧みて』（大正4・実業之日本社）
『貧乏物語』（大正6・弘文堂）
『マルクス主義経済学』（昭和5・改造社）ほか

マルクス主義経済学の正当性を主張して曲げなかった河上肇は、明治十二年（一八七九）十月二十日、岩国市散島に生まれた。初代岩国町長であった父河上忠の長男で、弟は東洋のセザンヌと言われた洋画家の左京である。四歳で小学校に入学の「成績卓絶」の証書を得るほどの秀才だった。十歳の時演説をやったり、「日本工業論」を発表するなど、早くから経世家への夢を育みつつあった。

山口高等中学予科に入り、蘇峰の『吉田松陰』を読み、その生き方に強く感銘を受けた。その後、東京帝大法科大学政治学科に入学。足尾鉍毒事件罹災者救援講演に出かけたりして行動を起こし、無鉄砲で猪突的な求道精神をしつかり持っていた。

大学を卒業後、京都帝大の講師に。ヨーロッパ留学のち同大学の教授となり、経済学と経済史を教えることになる。その頃日本国内には社会主義運動がおこっていて、肇も度々演説会等の運動に参加した。

雑誌『社会問題研究』『経済学大綱』は学生や労働者など多くの人に読まれ影響力を持つにいたる。『祖国を顧みて』『貧乏物語』等を相次いで出版。第一次世界大戦であぶく銭をつかみ、好景気に酔いしれている世間に、志士の禁欲主義の立場から強い警世を放った。

昭和三年（一九二八）、大学教授を追われ、「労働党」を再建することに奔走し、ますます社会主義運動に入り込んでいく。さらに、「第二貧乏物語」「資本論入門」等を執筆するが、書斎派にあきたらず、実践活動を求めて行動。日本国内は軍国主義一色になり、戦争に反対する社会主義者の弾圧が始まる。

昭和八年（一九三三）、ついに検挙され「治安維持法違反」として五年の懲役刑に処せられた。

「自叙伝」も執筆したが、ついに岩国に帰ることなく、昭和二十一年（一九四六）帰らぬ人となった。

経済学者、思想家として優れた才能を発揮するとともに、詩人、エッセイストとしての才にも恵まれ、文学の領域でも貴重な存在であった。

（文・稲生 慧）



普濟寺内 墓（岩国市錦見）



歌碑（錦帯橋畔）1997年建立

河上肇年譜

（提供・稲生 慧）

明治11（一八七九）年	五歳	10月20日、山口県岩国市錦見町に生まれる。
明治17（一八八四）年	九歳	3月、岩国尋常小学校初等科入学。
明治21（一八八八）年	一歳	3月、岩国学校入学。
明治23（一八九〇）年	二歳	6月、「日本工業論」（回覧雑報所収）、10月、教育勅語発令。
明治26（一八九三）年	一四歳	山口高等中学校予科入学。徳富蘇峰『吉田松陰』に出会う。
明治28（一八九五）年	一六歳	9月、山口高等学校文科に入学。
明治31（一八九八）年	一九歳	東京帝国大学法科大学政治科に入学。10月、片山潜らと社会主義研究会を創立。
明治34（一九〇一）年	二二歳	3月、鉍毒地域救済婦人会の演説を聞き、衣類を寄付。（田中正造、鉍毒問題で天皇に直訴。）
明治36（一九〇三）年	二四歳	1月、東京帝国大学農科大学実科講師。（11月、幸徳秋水らが平民社を創設。）
明治38（一九〇五）年	二六歳	1月、「経済学上の根本概念」、11月「日本尊農論」12月、『読売新聞』に連載していた「社会主義評論」を中途で搁筆し、一切の教職を辞して伊藤証信の「無我苑」に入る。

（内村鑑三「基督教と社会主義」。）
7月、京都帝国大学助教授。（10月、伊藤博文暗殺。）
5月、大逆事件の検挙始まる。10月、「経済学の根本概念」
1月、大逆事件判決。幸徳ら死刑。3月、「時勢之変」
12月「経済と人生」
ヨーロッパ留学に出发。
7月、第一次世界大戦勃発。
2月、ヨーロッパ留学より帰朝（大正3年法学博士）。
京都帝国大学法学部教授。3月、「祖国を顧みて」
（1月、吉野作造、民本主義を唱える。）
3月「貧乏物語」
11月、第一次世界大戦終わる。
1月、『社会問題研究』創刊。
8月、「唯物史観研究」、12月、マルクス「賃労働と資本」「労賃、価格及び利潤」（訳）
8月、「資本主義経済学の史的発展」、（9月関東大震災。大杉栄ら虐殺される。）
4月、治安維持法公布。10月、「資本論略解」
3月、金融恐慌勃発。10月マルクス『資本論』刊行開始。
4月、京都帝国大学教授の職を辞す。10月「経済学大綱」
3月、山本宣治暗殺される。10月、世界大恐慌始まる。
12月「マルクス経済学の基礎理論」
9月、満州事変勃発。
8月、地下運動に入る。
1月、中野の隠家で検挙。2月、小林多喜二虐殺される。
4月、京大滝川事件起こる。
4月「宗教とマルクス主義」を提出。自叙伝執筆許可される。
3月「獄中贅語」の稿なる。6月、刑期満了で自宅へ。
7月、日中全面戦争開始。
12月、京都に転居。太平洋戦争勃発。
8月、無条件降伏。10月、治安維持法の廃止。
1月、栄養失調甚だしく、臥床することが多かったが、肺炎を併発して死去。